

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻		
科目名称 [英語名称]	地域景観学特論Ⅱ [Theory of Community LandscapeⅡ]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	642460	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	平岡 直樹			学位授与の方針 との関連	修士課程DP1		
授業概要	<p>本授業の目的は、地域景観学特論Ⅰで学んだ普遍的な基礎的内容を元に、地域社会での応用と展開を行います。地域性や歴史性などの多角的な視点から、景観の評価、調査、計画手法を論じます。また、実際の事例を取り上げ、調査方法や分析方法選定からまとめまでを体験します。</p>						
関連する科目	<p>学部の庭園に関わる授業を受講し、しっかりと復習しておくことが望ましい。履修後は、地域景観学特論Ⅰを履修することが望ましい。</p>						
授業の進め方と方法	<p>学部の授業「景観論」を受講ししっかりと復習しておくことが望ましい。地域景観学特論Ⅰを事前に履修することが望ましい。ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行います。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 景観の概念</li> <li>2 景観の把握</li> <li>3 景観の分析・予測・評価 景観の基本概念を使った調査や分析の演習</li> <li>4 自然景観</li> <li>5 田園景観</li> <li>6 地域景観見学会1</li> <li>7 森林景観</li> <li>8 都市景観</li> <li>9 道路景観</li> <li>10 河川・海岸景観 景観の構成要素別に調査や分析や演習</li> <li>11 構造物と景観</li> <li>12 地域景観見学会2</li> <li>13 サウンドスケープ</li> <li>14 食と景観</li> <li>15 景観の意味 視覚的な景観だけでなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業を通じて、景観についての幅広い知識を身に付けます。</li> <li>2) 空間を把握し、計画する上で不可欠な技術力を高めます。</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>第1回目の授業で示す参考図書など都市論や地域論、景観論に関する資料を授業前に読んでおいてください。授業後に理解が曖昧な時は再度精読してください。また、自らの都市や地域、景観についての知見を深め、景観の社会的意義を理解するために、身近な都市や村落、自然地に赴き、その成り立ちや社会的位置づけなどについて考察を深めてください。予習復習4時間程度必要です。</p>						
課題に対する フィードバック	課題等は確認した後に返却します。必要に応じてコメントします。			評価方法	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。		
テキスト	関連書籍及び関連論文						
参考書	<p>主なものは以下の書籍です。          ①『場所の力』ドロレス・ハイデン 学芸出版社(2002) ②『日本の風景・西洋の景観』オグユスタン・ベルク 講談社(1990) ③『風景と人間』アラン・コルバン 藤原書店(2002) ④『まちづくりオーラルストーリー』水曜社(2005)</p>						
備考							